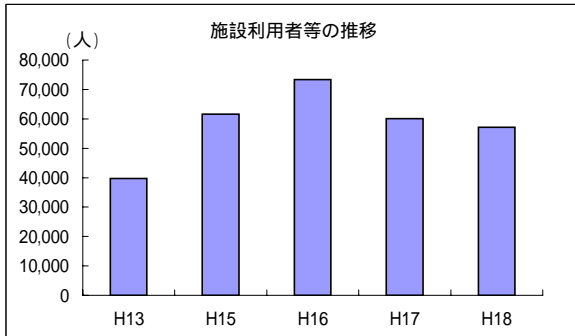


# 福井県立歴史博物館(1/2)

## 歴史博物館は 元気が出る博物館です!!

所在地	福井市大宮2丁目19-15		
設置年月日	昭和59年4月8日 (リニューアルオープン:平成15年3月12日)		
施設の種類	博物館	施設管理主体	県
設置の目的	郷土の歴史、民俗等に関する資料の収集、保管および展示等を行い、もって県民の文化の向上に寄与することを目的とする。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上2階、地下1階、延9,044㎡ 展示室(トピックゾーン、歴史ゾーン、オープン収蔵庫)、情報ライブラリー、講堂		
職員数	正職員10人、アルバイト4人 計14人		

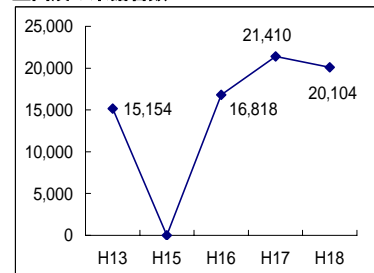
	H13	H15	H16	H17	H18
利用者数(人)	39,739	61,558	73,405	60,037	57,186



### 利用者負担(利用料金)等

入館料 (常設展)	一般・大学生	100円
	高校生以下	無料
	70歳以上	無料

### 企画展の来館者数



利用状況の 推移	<p>平成14年度はリニューアル工事のため閉館し、平成15年3月12日にリニューアルオープンしました。31日までの17日間だけの期間でしたが1万2千人の利用者がありました。</p> <p>平成16年度に開催された特別展「昭和の子どもたち」は、リニューアル後 初の企画展でもあったことから1万6千人を超え、1企画当りの入館者数としては開館以来最高となりました。</p> <p>年間の入館者数は減少ぎみですが、四季折々の企画のほか、テーマ展なども開催し、企画展の入館者数は20,000人を越えています。</p>
-------------	---

### 施設の特徴

福井県の歴史や文化に関わる総合的な人文系歴史博物館として、歴史・文化遺産の調査研究、収集、展示を行い、併せてこれらに関する情報提供、普及活動をすすめています。

- ・「モノ」を中心とした展示により、「昭和のくらし」コーナーに代表されるように、気軽に観覧できる環境のもとで歴史文化資料に接することが出来ます。
- ・ミュージアムシアターでは、昭和20～30年代の記録映画等を終日上映しています。
- ・情報ライブラリーではデジタル・ハイビジョン番組を自由に見ることができます。

### 教育普及活動

- ・ミュージアムコンサートやミュージアム発見ツアーなどを企画しています。
- ・各企画展にあわせて、ギャラリートークやワークショップを開催しています。

### 調査研究

- ・日本海海運関係資料、北海道移住関係資料を継続調査しており今後の映像番組製作等に活用します。



「昭和のくらし」コーナー



### 18年度の特徴について

事業実績	<p>展示活動(企画展の実施 24,129千円)</p> <p>春 「ブックアート-本の世界-」(平成18.4.22~6.11 来館者3,547人) 大正から昭和初期の洋本装丁を中心とした展示や、装丁家のプレミアムトーク・ワークショップ(ブックカバー製作)などを開催しました。</p> <p>夏 「ガラスの芸術-ルネ・ラリックとその時代-」(平成18.7.21~9.3 観覧者4,507人) ワークショップとして、ビーチガラスによるランプ、ランプシェードの製作を実施しました。</p> <p>秋 「鬼-姿と伝承-」(平成18.10.7~11.26 来館者3,796人) 鬼退治物語から重要文化財としての鬼の面まで幅広く鬼を紹介しました。</p> <p>冬 「イノシシand干支せとら」(平成19.1.3~.2.25 来館者5,520人) 猪に関する郷土玩具・仏画・重要文化財等を展示しました。</p> <p>猪関連の年賀状でクイズを実施したところ140名の応募がありました。</p> <p>特別展「由利公正」(平成18.11.3~11.26 来館者2,734人) 「五箇条の御誓文」関連資料を展示しました。 ビデオライブラリー「由利公正」を会場で上映し、同DVDを県内中学校に配布しました。 「ふくい文化財」(平成19.2.10~2.24 来館者1,598人) 弥勒菩薩像など重要文化財を展示しました。</p>
	<p>調査・研究・収集事業(22,200千円)</p> <p>日本海海運と北海道移住関係資料を継続調査しており、今後の映像番組製作等に活用します。</p>
	<p>普及サービス活動(1,853千円)</p> <p>ミュージアムコンサート「蓄音機の音色」の開催では113人の参加がありました。</p>

# 福井県立歴史博物館(2/2)

## 行政コスト計算書(平成18年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	99,754	28.9%	103.0%
	退職給与引当金繰入	650	0.2%	216.7%
	計	100,404	29.1%	103.4%
物にかかるコスト	物件費	132,843	38.5%	103.6%
	維持補修費	4,959	1.4%	129.1%
	減価償却費	96,034	27.8%	100.5%
	計	233,836	67.7%	102.8%
その他	公債費(利子)	8,521	2.5%	95.7%
	その他	2,345	0.7%	95.5%
	計	10,866	3.2%	95.6%
合計		345,106	100.0%	102.7%
収入	利用料等収入	4,257	1.2%	107.2%
	その他収入	1,300	0.4%	63.1%
	一般財源	339,549	98.4%	102.9%

## バランスシート(平成19年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	4,471,772	98.6%	固定負債	917,020	94.0%
うち土地	736,500	100.0%	うち起債残高	837,470	93.4%
うち建物・設備	2,978,559	97.8%	うち退職手当引当金	79,550	100.8%
うち収蔵品・資料	753,261	100.4%			
投資等	0	-	流動負債	59,336	100.0%
流動資産	0	-	正味資産	3,495,416	99.8%
計	4,471,772	98.6%	計	4,471,772	98.6%

## 主な指標 (単位: %, 円/人)

	H18	H17	前年比
県民1人あたり有形固定資産額	5,464	5,526	98.9%
県民1人あたり将来負担額	1,120	1,188	94.3%
世代間負担率	78.2	77.2	101.3%

バランスシート、行政コスト計算書の特徴	<p>有形固定資産のうち、建物・設備が約30億円と全体の7割を占めます。平成14年度にリニューアル工事を行い、その減価償却が進んでいないためです。</p> <p>また、リニューアル工事に際して約10億円の県債借入を行っています。平成17年度から償還が始まったばかりですので、県民1人あたりの将来負担額が大きくなっています。</p> <p>資産のうち収蔵品および映像資料が753百万円と、全体の17%を占めています。県指定文化財の刀剣を含む約15万点の資料を収蔵しており、約490点を展示しています。</p>
施設の目的上、管理運営上、主要な事業	<p>管理部門：施設の維持管理、資料の保管と管理 【H19予算額：約122百万円】</p> <p>事業部門： 調査研究事業 … 歴史・民俗・考古等の調査研究、資料の購入 【H19予算額：約22百万円】 企画展開催事業 … 企画展の開催（4回程度）、展示資料入替 【H19予算額：約24百万円】 教育普及事業 … ミュージアムコンサート等の開催 【H19予算額：約2百万円】</p>
今後の課題	<p>平成15年3月にリニューアルして、2年間は入館者数が増加しましたが、17年度以降は減少しています。</p> <p>今後は、入館者数の増加を図るため、収蔵品を中心に、常設展示の内容を更新するなど、常連の入館者を確保する必要があります。</p>
今後の事業方針取り組み内容	<p>利用者数のニーズなどを探りながら、新しい魅力を創造し、親しみのある身近な博物館として入館者増を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展の内容充実や常設展の定期的な入替を行います。</li> <li>・エントランスホールの活用によるコンサート、ミュージアムライブ等を実施します。</li> <li>・小中学生向けの体験型展示を行います。</li> <li>・学校・老人福祉施設等へ訪問しPR活動を行います。</li> <li>・県民ニーズに対応するようアンケート等を充実します。</li> </ul>

